

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年4月3日

事業所名 放課後等デイサービス だいち

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	2	7	活動の2チーム制	基準は満たしているが、定員満了の日が多くなったことで手狭になってきている。活動内容を二つに分けるなどの工夫にてスペースの確保に取り組んでいく。
	2 職員の配置数は適切である	6	0	勤務形態一覧表の活用	月ごとにチェック体制を徹底していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	6	1		定期的にチェックを行い、気になる点があれば改善していきます。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	1	定期的な協議	支援面、業務面においてスムーズな事業展開ができるよう、スタッフミーティング等で課題解決に向けた改善目標の設定と実行、振り返りを行っていきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0	ミーティングの開催	今回のアンケート結果をもとにしたミーティングを実施し、現状の把握と、改善に向けた取り組みについての話し合いを行います。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	ホームページ活用	結果の公表方法について全職員に周知します。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1		外部からの評価に関するの情報や取り組み方に関して、法人として検討を行います。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	2	定期的な研修参加	研修内容を確認したうえで、適した支援員が参加できるように日程の調整を行います。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	アセスメント内容の工夫	アセスメントの際に各職種より質問を行い、より課題点が明確になるように心掛けて実施しています。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	1		全スタッフが評価の方法を理解し、共通した見解で対応できるように周知を図ります。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	支援会議実施	多職種からの意見をまとめて実施している。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	支援会議実施	季節ごとのイベントの実施や制作物について支援会議にてアイデアを出し合い、実行に向けてのスケジュールリングを行っていきます。
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	1	支援会議実施	長期休暇時は外出の計画や放課後利用の際には実施の難しいクッキング等の活動を提案し利用時間に応じた支援目標を設定している。
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0		個々の支援目標や状況を把握したうえで、伸ばすべき点において個別に取り組む場面が集団生活において学ぶ場面かを評価し作成に繋げていきます。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	スタートミーティング実施	当日勤務の職員全員でスタートミーティングを行い、利用者の体調に関してや本日の活動内容についての確認を行っています。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	3	LINEの活用	送迎業務や勤務時間の関係で支援終了後に集まるのが難しい場合もあるが、共有が必要な事例はLINEを活用し連絡を取るようになっている。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1	支援記録作成	実施内容に応じて支援記録、リハビリ記録を記載しています。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0		半年間に一度を目途にしながら、環境が変わる際など適時対応を行っていき、必要なサービスが提供ができるように努めます。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0		スタッフ間で共通理解が持てるように周知を続けていきます。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	会議への参加	医療的ケアが必要な児童の会議には看護師、機能面の術後のカンファレンスには機能訓練職員の参加を調整するなど会議内容に応じて参加者を決め、適切な話し合いの場が持てるようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6	0		学校へのお迎えの際に担任教諭とコミュニケーションを図ることを意識して行っており、授業中の様子や体調面の変化、成長に繋がるきっかけの共有ができるようにしています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	医療的ケア指示書	『医療的ケア指示書』を主治医より提出してもらうようにしており、また体調面において確認を取りたい内容がある際は保護者に仲介に入ってもらい尋ねてもらっている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		契約に際は、保護者が主となり動くことが多い為、関わりを持つ機会が少ない現状がある。モニタリング等の場面でやり取りが可能な体制を整えるなど、繋がりを持てるように調整を試みます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	卒業後の進路への情報提供の実施	今年度、同法人の生活介護への移行利用者がいる為、支援内容等の情報を事業同士で共有しています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	研修参加	定期で案内を受け取っており、積極的に研修への参加を調整しています。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5		コロナ禍の影響で、実施に向けて取り組むことが難しかったが、兄弟児を通じて調整を行うなど新たな機会が作れるように検討を進めています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	3	0	集まりへの参加	法人を通じて協議会に関する情報が届くようにしている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6	0	連絡帳やLINEの活用	連絡帳にて体調や利用日じゃない時の家庭での過ごし方などを記載してもらいコミュニケーション等に活かしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3		ペアレント・トレーニングに関して職員の意識を高めることをまず行い、実行に向けて調整を進めています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1		契約時に必ず説明を行うことを徹底しています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1	定期的な面談の実施	定期的な面談の実施を行い、保護者と支援についてや進路に向けての話し合いを行っていきます。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		各保護者のニーズを把握した上で、適切な実施方法を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	0		苦情を受けた際の対応の流れをスタッフ間で共有し、いかなる場面においても適切な判断で実施ができるように整備を進めていきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	3	広報誌発行	法人として年一の広報誌の発行を行っていますが、放課後デイとしてより発信の頻度が高まるように広報内容や方法を検討していきます。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	同意書の作成	『個人情報取り扱いに関する同意書』を保護者と交わしており、それをもとに事業運営や広報活動に取り組んでいます。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	コミュニケーション支援	各利用者の特性理解や家庭の事情に応じた対応を心掛けて実施していきます。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3	秋祭り開催	コロナにより三年間当法人主催の秋祭りの開催を見送っている。今年度は開催に向けて計画を進め、近隣住民などへの招待などを検討しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	1		周知を行いながら、内容について都度精査していき、より適したマニュアルの作成を進めていきます。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	避難訓練の実施	定期的に地震や水害、火災と内容の異なる避難訓練を実施していき、振り返りを行い安全なサービス構築を目指していきます。
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0	研修への参加	法人の虐待防止委員会を通して、研修の計画・実施などを行っている。
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	0	同意書の作成	サービス計画への記載と共に、身体拘束に関しての同意書を作成し保護者へ説明の後、文書を交わしている。また、内容に関して職員も理解ができるように説明の場を設けている。
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	指示書の徹底	給食提供の厨房スタッフとも連携を取り、指示書をもとにしてメニューを決めています。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	報告書の作成	発生した事例を書面にて残し、職員会議の場でスタッフ周知を行い、再発防止に努めています。